

まちの話題



矢部高体育館に響き渡った圧巻の演奏

京都大学 交響楽団演奏会

8月24日、京都大学交響楽団の演奏会が矢部高校体育館で開催されました。ポランテアで地方公演をしている京都大学交響楽団の活動に教育委員会が応募し、多数の中から選ばれて実現した演奏会です。

2部構成の内容で演奏され、交響曲や組曲をはじめ、映画音楽や子どもたちに人気の曲など幅広い楽曲が披露されました。後半は、行進曲「希望の空」で矢部高校吹奏楽部との共演が実現、素晴らしい演奏が会場に響きました。このほか、指揮者体験やユーモラスな楽器紹介などの時間もあり、矢部中、蘇陽中、矢部高校の生徒など、約600人の来場者は、本格的なクラシックの世界とフルオーケストラの迫力ある演奏に引き込まれていました。

上差尾 笑顔の1日

8月25日、上差尾地区交流館に地区の方々が集まり、第54回上差尾レクリエーション大会が開催されました。ゴルフ、ムカデ競争、俵さし、綱引き、宝探しゲームなど次々と楽しい催しが行われました。その中で、会場に設けられた特設土俵では、「ちびっこ相撲上差尾場所」があり、子どもたちが大勢参加。大相撲顔負けの白熱した取り組みが繰り広げられました。この日、上差尾地区は、笑顔の絶えない1日をお過ごししました。



はっけよい、のこった、のこった

おひつとマトを園児に

8月22日、JA阿蘇南部トマト部会が、蘇陽地区の3つの保育園に、真っ赤に熟れたトマトをプレゼントしました。同部会は、山都町蘇陽地区、高森町、南阿蘇村のトマト農家72人で構成され、22ヘクタールを超える栽培面積でおいしいトマトを作っています。同部会では南阿蘇地域の全保育園へのトマトプレゼントを10年以上前から続けています。



二瀬本保育園の園児にトマトを渡す山邊さん(左) (提供：JA阿蘇)

ふるさとを知ろう

8月22日、下名連石自治振興会が老人会いきいき大と協力して地域の史跡研修を行い、地域の子ども12人も参加しました。下名連石自治振興会長の松本憲明さんは企画した理由を「地域の言い伝えを知る人も少なくなってきたので、子どもたちに少しでも知ってもらいたかった。」と語りました。参加した子どもたちは、年祇神社や、菅原道真を祀る天満宮など、地域にありながらなかなか知る機会がなかった史跡を回り、詳しい説明を聞きました。



年祇神社で教育委員会西さんから説明を受けた子どもたち

水鉄砲で楽しく交流

麻山地区の老人会が6年前から行っている地域の子どもたちとの交流会が、8月19日に麻山公民館のグラウンドで行われました。今年が初めての試みとして、竹製の水鉄砲が用意されました。参加した11人の子どもたちは、使い方を老人会の方々に教わりながら、ピンポン球落としに熱中しました。その後は、毎年恒例のグラウンドゴルフで共に汗を流し、さらに交流が深まったようです。



この水鉄砲はこうやって使うんだよ

宝くじ助成事業で 視聴覚機器等を整備

コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、東竹原自治振興区に神楽面や縮太鼓などの神楽衣装等の備品が整備されました。

この、コミュニティ助成事業は、宝くじ普及広報事業費を財源として財団法人自治総合センターが助成決定を行うもので、今後の東竹原自治振興区の益々の活性化が期待されます。



安全な作業を 目指して

県内では今年に入って、林業に関する事故が多数発生しています。その林業作業中の事故を無くそうと、緑川森林組合が主催する労働安全研修会が8月29日、通潤山荘で行われました。町内で林業に携わる方約50人が参加。林業木材製造業労働災害安全防止協会熊本支部の西島孝一さんが講師を務め、林内作業車使用時の危険箇所などについて講義がありました。その後、田小野の町有林で現地講習があり、安全な作業の進め方について学習しました。



町有林での作業講習。安全な作業を目指します。

夏祭り(後半)

町内各地で行われた夏祭り 後半の様子をご紹介します。

第15回島木納涼まつり (8月14日)



カラオケ大会のようす。 里帰りした方も多く参加されました。

下名連石ふれあい夏祭り (8月16日)



太鼓に合わせて参加者全員の「総踊り」

田小野夏祭り (8月16日)



今年も楽しい出し物が たくさんありました。

第40回 清和地区 夏季ナイター ソフトボール大会

8月20日~23日
優勝 米生球友会
最優秀選手賞 本田 末広選手 (米生球友会)



優勝した米生球友会

下馬尾天神祭 (8月19日)



御岳保育園の太鼓が会場を盛り上げます。